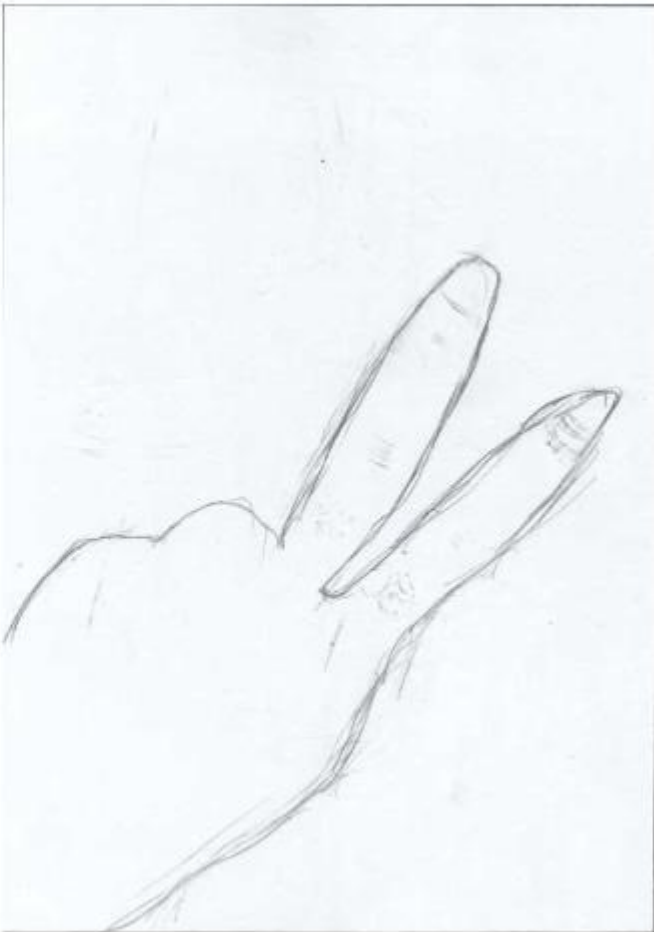


目下
 8月2日 水
 1. 平松、face = 顔
 平松という顔名が「face」=「平松」という意味であり、世帯が平松であったはずという顔いがある。
 平松の点印、特にありてんが、頭張。平松は、自分の顔にしたい。平松をとり入る事や、特徴的の部分に、平松、曲線、平松と平松した平松。

私と美術
 8月2日 水
 3. 美術の美術を習う。美術は、一番目に好きの教科で、なぜなら美術は、独創的の感覚や、造法など、11月13日、技術を学ぶ事ができ、自分の好きな事ができるからである。
 私に美術という教科は、他の教科とは違っている。私は、よく分からぬが、美術は、学んで行きたい事がある。だから、美術が好きである。だから、学んで行きたい事がある。



題名 P-on まわし B 組 3 番 氏名

授業の途中、無意識にしているP-onまわし。
 だれもがしているからP-onまわしと聞いて、自分のまわしはいい
 ものだと思った。
 絵を仕上げるために、影を写すことが表現したいと思った。
 けれど、残像から、こも、と重なるまわしは、

私と美術 B 組 3 番 氏名

1年生の時のこと。線一本で絵を描くことが好きだったけれど、
 今でも、7日、影が光をたがって、絵の輪郭とまわしを表現したい
 と思った。
 美術は、自分が死ぬまでのこと、7日、10日、15日、20日、25日、
 TVを見る時、外で歩いている時、いる場所、美術は、あつ、
 それを見て感じる、こも、影とあると思う。
 私と美術は、いつも一緒にあるものだと思う。



「 Good Luck 」 B 7 日名

工夫した点は、今まで学習してきたことをフル活用
に描いたことです。特に陰影のつけ方を工夫しました。
手の微妙な力加減がくまに意識して陰影を付
けた。

これから高校生活で大変になる自分、頑張れ
ということ、グッドラックを表現しました。

私と美術

B 7 日名

15歳の手の制作を通して、2B、2B、6Bなど鉛筆
など、画材材料も少し違ったけど、作品の質や感じ
がかなり変わった。とかがあったので、そういうこと
に同じこと、これから描いていきたい。



題名 僕の手 B用8番 氏名

今の自分の手は大き工は今しかいない。今の自分の手は大き工に合わせていた。将来、この作00.0見たい時にカッコいいと思えるようにしたい。今でも手だけじゃなく人として大き工ってほしいという願いをこめて書いた。物をつけて立体的に見てもらうとした。

私と美術 B用8番 氏名

僕は美術は感性を育てたか。色・形をとって感じとれる部分があることに感心した。僕も今は母国語ではないが将来役に立つであろう英語を頑張る。勉強している。習う理由は人々のコミュニケーションをとるためである。色・形からの情報を受け取った言葉の意を越えて伝えると見る。人々のコミュニケーションをとることは言葉だけでなく絵でも感じた。絵、世界各國の絵画、像、彫刻、新しいアイディアを構えることにはない。そのアイディアを大事に抱いて自分の生活に役立てていきたい。そして美術は発展し今も発展し続けていると思う。美術は単なる絵や工芸やデザインというだけではない。



題「夢をつかもうとする手」

B 組 11 番 氏名

15歳になつた自分にはまだ「明確な夢はありませんが、ある程度のなりたいたい自分があります。この手はまた「つかまえていなければ、構りな夢のなかからいつの夢を見つけて出して、みだにつかまようとする自分を表現しています。完全に手を握っているのではなく少しゆるめに握っているところがこの作品の工夫です。あえて目を使っていないのもまた何かに表現している自分を表現するためです。

私と美術

B 組 11 番 氏名

僕がこの美術の授業を通して三年間学んできたことは、自分を大きく成長させてくれたと思う。なぜなら僕は最初のごろ美術に全く興味がなかったからだ。この中学校に入塾したころは美術なんて小学校の図画工作の延長上にあると思っていた。ところが中学校で学習する美術の授業は小学校で習う図画工作とは全く違っていた。例えば図工の時間は作る事がほとんどなのに対して美術の時間は鑑賞という時間があり驚かされた。けれど自分の伝えたいことをどの材料や絵の具、構図で表現しようとするところは図工でも美術でも共通しており大切なことだと思ふ。とにかく入学したときの頃の自信にして美術というそのほかでも斬新なものであった。その美術科を三年間学んでは卒業しようとしている。最後に僕が思うことは、本当に三年間美術科を学んできて良かったということだ。



手記大まかに書いた様子を思い、将来自分の夢を叶かめたいという気持ちを込めて書いた。おもしろい夢を
書くことが、おもしろい。

私と美術

B組14番 氏名

私は1年生の頃、絵を習いはじめ、絵に夢中になった。絵画を習う前は、絵の具や筆がなかった。でも3年間、附中で美術の勉強をしてきて、思えばこの方が、絵で自分の思いを表現できる。絵は「表現手段」といえる。絵で作品が、その人の思いを伝える。絵は自分の思いを表現する手段である。

絵は「表現手段」といえる。絵で作品が、その人の思いを伝える。絵は自分の思いを表現する手段である。

絵は「表現手段」といえる。絵で作品が、その人の思いを伝える。絵は自分の思いを表現する手段である。



日 2009年2月16日
名 午前11時の赤 Bm Bm 08

② 工夫したこと

- ・一年生のときに学習した「筆圧のコントロール」を使って立体感を出すようにしました。
- ・絵の中の手と自分の手の大きさや形をできるだけ同じにするようにしました。

③ 込めた思い

これからまた生きていく人生の中で、自分の手はどんな変わっていくと思います。外見も、内面も。それが、この作品は今自分が見ている手を、自分の目でその通り紙に描きました。

私と美術

Bm Bm 08

僕が美術を学んで得たものはたくさんあります。例えば、美術館に行くと退屈でなく行ったとき、顔や服の色を自己置でその中に込められた相いがかうようになったとき、自分の気持ちを正確に絵で表現できることになったときです。僕が見ている世界は、小学生のときと今とはまったく違います。この海の色や形にたいして敏感になることができた。楽しかったよ。



指のさき方向に、B 16
 指をさした方向に前を向いて鼻、すこ進もう
 という思いを込めた。また鼻、さくのひた
 りとさし指のようになり、堂々と自信を持って
 という思いを込めた。
 制作には、「人生の頭に留めた。あまふ存物を
 かいた。指のまん節はめをかいて形を作
 を決めた。陰影をつけた。裏のシツをかいた。し
 指の日をたをい。シツを指が動か。ていさのに
 合はれてかいてめた。

私と美術

Bull. an.

美術の学びを通して、美術は奥が深いと
 思った。デザイン、色付、線、形、色、自分
 の心情や物の特徴をいかにくても描成
 べきことを知ることをきた。
 絵を描いたり、物を作ったりするとき、必ず下書き
 したりせが、構想をねて、つなげていくように
 変化した。
 自分たちの生活に使うものは、素材と
 関係している。自分の用に見るデザイン、色か
 工夫されている物がたくさん見つかふ。
 美術は私たちが生活の中で、とても重視されている
 ことに気がついた。



題「夢に向って」 B組19番 氏名

この絵は夢を自分の手で描くつもりとしている絵画です。
この作品にこめた思いは将来の夢のために高校・大学が卒
が、将来の夢がかなた方がいいなあと思えるように、今ががんば
りたいという思いをこめました。

私と美術

B組19番 氏名

私と美術の関係はロマンチックです。
1つ目は幼いころから絵をかくのが大好きで、たまにはキャラクターの
絵をかいていました。今もキャラクターの絵をかき続けています。
そうして、かいていくうちに私に力を元気にさせてくれるので私と
美術の関係はそこにあります。
2つ目は美術の授業を通じて前の自分よりも発想が豊かに
なってきたと思います。小学生、中学生の頃は発想、構想が
少なかったけど、2、3年生になるとたくさん発想、構想がうかん
できたと感じたからです。そのことにも私と美術の関係があら
わす。そしてこれからは私と美術の関係をたくさん作りたいで
す。



題 'グリーンピースピース', B_組 18_歳 氏名

世界平和をこの絵の中に込めています。動物代表「熊」、自然代表「鳥」、自然代表「クマ」、動物代表「鳥」、自然代表「クマ」を合わせて世界平和を表現しています。動物代表「熊」が描けるのは人間が平和を望む自然代表「鳥」の象徴として「クマ」が描ける。

私と美術

B_組 18_歳 氏名

絵の動物を自分で描きたいと思って、
この美術の授業で「クマ」が描けるように、
この3年間「熊」や「鳥」を描いてきたので、
描ける。



題名 未来
 B組19番氏名
 15歳とは、自立する歳であると思っ、
 だからなるべく一本の線ですた、少し
 ために力強く見えるように書いた。
 また、陰影はほんやりとではなく、
 くっきりするようにつけた。
 「力強く」や「く、まろ」と書いたのは、
 自分でしっかりするということもある
 が、未来の大人へと進む、第一歩か
 いて初めの一歩を「力強く」踏んでい
 スタートをしたいという気持ちも
 入っている。

私と美術
 B組19番氏名
 美術は英語、数学、国語、理科、社会と
 らがって、字がものではなく、感じるもの
 だと思う。だから美術には、正確な答
 えはないと思う。
 色彩のところがあもしろからた、色が
 明るくなったり暗くなったりした
 だけで、感じ方が変わるのが不思議
 だ。これを学習するまでは、明るい
 色は良いイメージ、暗い色は悪い
 イメージがあった。でも今は明るい
 色も不気味なイメージがあったり、
 暗い色にはおろついたイメージがあつた。
 などちらにも、+があるのを知
 ち、これからは、色を上手に使う
 いきたい。



題名 15年間の左手 | B 画 20歳 15分
自分の15年間英K歩み絶つて来た左手のあたふかさを紙のうす
紙にしてみました。

私と美術 | B 画 20歳 15分
小学校のころは美術という言葉を理解できなかったが
3年間美術という教科に慣れる事によって
美術の本質を理解できたのだろうか。



題「夢をつかむ」 B組 21番 氏名

小さな夢から大きな夢をつかむためには「努力」が必要だ。

どんな「努力」にもムリはない。

小さなことから真面目に取り組めば必ず夢をつかむことができずすた。

色の濃淡をしっかりとつけるようにした。
色をつけずに黒一色で描いた。

私と美術

B組 21番 氏名

私は中学生になつてから美術と向き合うようになった。3年間の学習の中で、単に鑑賞したり、制作したりするだけでなく、自分の思いや作品に込められた想いを作品に反映し、感じとろ力を身に付けることができた。

人と同じではない自分だけの思いや美しさを美術は大きく写し出してくれるもので、それと同時に、たくさんの作品を鑑賞することで、自分の心も豊かになり、他の教科ではあることのできないことを学べるものがあると思ふ。

高校生になつて、附帯で3年間学んだこと、感じたことを生かして、美術と向き合っていくようにしたい。



題名 高く、高く B 22 番 氏名
中学生→高校生という、未知なる世界へはばたこうとしている。何かを推すために手を高く上げている。新しい世界への希望と不安という矛盾する気持ちが、手の陰影をつけることにより、あらわした。あえて手の甲にして、外へ遠くのはしているようにした。

私と美術 B 22 番 氏名
美術の学習により、自分の世界が広がったと思う。一つ一つの作品を素直に見れるようになり、芸術という世界の奥深さや素晴らしさを知った。また、美術というのは日常にもあふれ、私たちの心のゆらぎにもつながっている。つまり、私の毎日の背景には、必ず美術が存在しているのだ。特に「掬うちわい」は、江戸時代からの技術が今もなお受け継がれており「うらわ」というあつめた物でも、芸術との歴史がある人になつて改めて感じた。また、その後に「ぬたまご」の作成をする上で、和紙の透過性を考えた時は、新しい物をついた事上で、先人の知恵は不可欠であることに気がついた。
これからの人生においても、中学校で習った事を土台として常に新しい物を創造していきたい。



題名 決意の手 B組23番 氏名

二斗から新しい決意の手を描くには、この決意の手を描くには、
 手には力を入れた感じを描くことが大切だ。
 大きく描くことに決めた。自分の決意の手を描く。

私と美術 B組23番 氏名

私は、絵を描くことが好きです。得意なものは、水彩画です。水彩画は、
 いろいろな色を混ぜて描くことができます。水彩画は、
 水彩画の絵画の表現方法で、自分の
 気持ちを表現することができます。自分の
 好きな絵画の表現方法です。

私の「得意」な絵画は、水彩画です。水彩画は、
 水彩画の表現方法で、自分の
 気持ちを表現することができます。自分の
 好きな絵画の表現方法です。



題名	決意	B組25番 北条
<p>今までの時期は受験生にとって、どつどつしたり緊張したりと、大変な時期です。</p> <p>自分の進むべき道はどれなのか。自分はどこに行きたいのか。何度も迷いました。それは誰でも同じことだと思います。自分の将来は自分で決め、その道に絶対進んだらいいと思うのを覚悟してでしょう。</p> <p>笑顔をたらし、つまみかいたりするときの初心に戻り、決意した瞬間のことを思い出して、自分の心を奮い立たせよう。</p>		

題名	私と美術	B組25番 北条
<p>私にとって美術とは、絵画・工作の作業を通じて、そして、作品の鑑賞・活用を通じて、その作品の良さや芸術性だけでなく、作者の描きたかったことや作品そのものの意味などを感じ取る... そんな「芸術の一部」をと思っています。</p> <p>愛すること、じっくり味わうこともできる。感情表現の1つのように思っています。</p> <p>3年間、美術で学んだことは、様々な視点から美術をとらえていきました。</p> <p>立休の作り方や器持ちや音絵に移ることなど、様々な表現の手法を学びました。</p>		



希望

B組26番 氏名

この手は、もうすぐ卒業をして新しい学校や道にいって行く中学生の今までの自分とはまた少し違う自分になるための目標をもつ、頑張っていくという希望をもったものです。手の中にあるものが希望で目には見えなくて形はないけれど、私の中の希望の形が描かれています。

指のうごき方が複雑でしおや影が難しいかなとおも

私と美術

B組26番 氏名

3年間美術の先生さんのことを学んできました。その中に絵の技法や自分の感情をどうやって表すか、イメージにあった色を選んだりするかなどといったことを学んでいきます。これらのことはすべて誰か他の人のものを真似てするものではなくて、自分で考えてやることだと思っています。

自分でイメージを決めて色を決めて完成させていく作業の中で自分の中の創造力、想像する力がどんどん強くなっていったと思っています。

だから、私にとって美術は、想像・創造する力をより促進させてくれている存在だと思っています。これが私と美術の関係です。



題名 星に輝いて

氏名 B組 〇〇 〇〇

附中に入学して、色々ことがあった。楽しいことも、嬉しいことも、悲しいことも。そんなことを手を通して表現したいと思った。あつの手を描いたが、その中に、濃淡をつけた。何色も何色に色を付けた。そして、線の明るい部分と暗い部分に合わせ、立体感を出した。立体感だけじゃなく、明と暗に差があった思い出と苦かった思い出を込めた。楽しいかと思えば、苦かった思い出も全て含めて、それと初めて私の附中での中学校生活が成り立つと思いき、手紙を描いた。そして、これからの自分の期待を込めて、星型をつけた。

私と美術

〇〇 〇〇

この間、美術の時間を通して、色々技術と学び、使う5つの色に、鮮明のカラーを混ぜておいて、学習前と後では、考え方がかなり違ってきた。特にスケッチのときは、見たもの形が全然違った。今回のスケッチを手で描いたのは、今更に分かっていた。そしてスケッチが一番印象に残っている。最初に描いた手は、手ごわい感じ。回と軸の間に、丸くおぼろげに描いているのが、トーンを見ればわかる。私と美術との関係が、いつのときか分かった。知ってからの美術は、私を磨いてくれるもの。美しいものを導いてくれるものだと思う。今のスケッチを通して、強くこれを覚える。今のスケッチにいたって、時間や授業に学習に打ち込んで、おぼろげなことを思う。これからは、美術にこれだけの機会があればいいなと思った。



<p>題名 小の手</p> <p>私の手は、比較にしては小さいと言われます。今回、妻と子供の手を一緒に描きました。子供の手は、私には想像以上の大きさで、握ると少し大変でした。</p>	<p>日 期 2023.10.10</p> <p>氏 名</p>
<p>私と美術</p> <p>私は5年間、美術科員として活動してきました。特に、子どもたちの絵を鑑賞するのが好きです。上達するのは、子どもたちです。</p> <p>私の創作は、子どもたちの絵が、学校で見た絵に似ていて、制作が楽しく思えます。</p>	<p>日 期 2023.10.10</p> <p>氏 名</p>



題名 15才の手 B 冊 29巻 5巻

あとで、シンプルに書きました。今、15才の私たちが持つ手は、まだどこか子供らしさを残しながらも大人の手へと変化しています。その過程である15才は一瞬なので普通の構図にしてみました。

私と美術 B 冊 29巻 5巻

三年間、美術科高校で美術を学んだこと・考えたこと・成長のきっかけがあったのではなかった。ただ色を感じるのではなく、さまざまな色を使い、どうしたら自分の表現したいイメージや事柄を伝えることができるかを一生懸命に考え思考をめぐらしながら作品の制作を行った。人に自分の心の内を伝えることの難しさと、それによって人の表現した作品が羨ましいと感じることを改めて学んだ。また、綺麗な色ばかりが美しいけれど作品は自然のものではなく、私たちにしか作れない独自の作品を作ることは簡単には思えず、それはなかった。いままで見た作品や、先生の制作している姿、自分自身の中に存在しているに違いない直観的な感覚として「自分らしい」作品が出来上がらなかったことと、それと抱いてみると思える。美術という科目は、永遠自身の中にある思考を平面（たとえば立体）に表現していくことにより心の豊かさを育てていこうというのではないかと考える。美術を学ぶことにより、言葉は、表現しきれなかった自分の考えや思いは共有することによって共有しきれない、それによって幅広い視野に立つこと、多角的に物事を見ることができるようになると思う。



題名 絆
B組 30番 氏名

16歳の今、私はいろんな人に支えられてるとあらためて実感しました。うれしいこと、悲しいことがあったときには励ましてくれて、嬉しいことがあったときには一緒に喜んでくれる友達や家族、先生は私にとってかけがえのない人です。そんな人たちが自分のまわりについてくれるからこそ成長できたんだと思います。そんな「絆」つながり、を大切にしていきたいという思いをこの作品にこめました。

私と美術

B組 30番 氏名

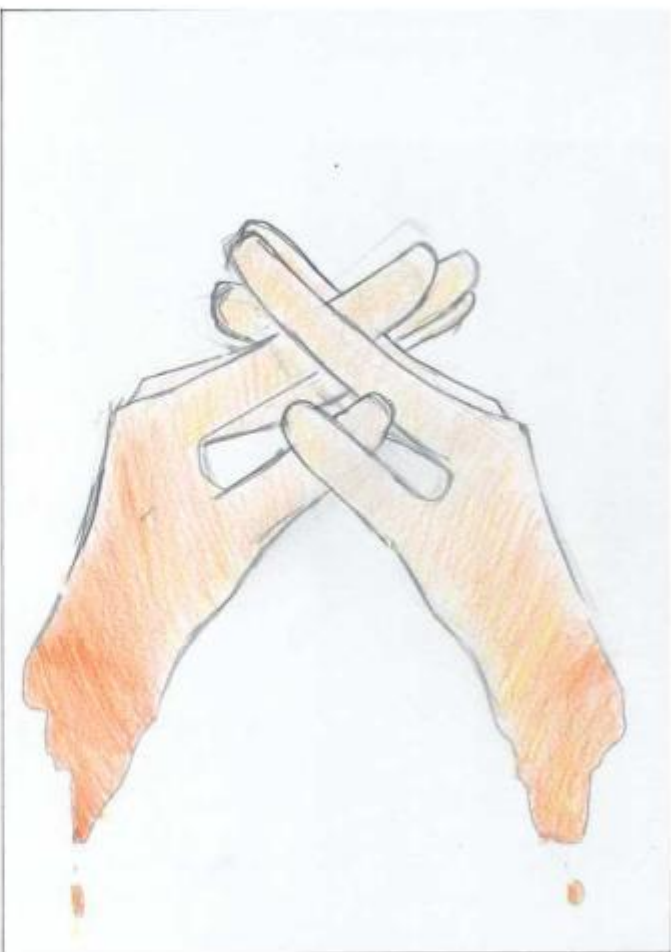
美術の学びを通して、普段何げなく見ている絵やマークなどもその色や形、技法を使って何を表したか、たのしみというのを考えるようになりました。また、いろんな学習で作品を作っていくなかで自分をよりよく表現できるようになったと思います。私が一番印象に残っているのは、ゆめたまごです。中学校生活の最後作ったからかもしませんが、ゆめたまごを制作するときは今までで一番楽しく自分の考えたことを表現することができました。

美術は私にとって自分の世界を広げられるものになりました。



相い, B組31番氏
 交差する「想い」と思慕して、両手を合わせて指を交差させた。
 今迄ふた指の内、外を二つ交差した。それ
 等しく、外を二つ交差した。二つ。
 正反対の想いを交差させ、三年内を表現した。
 エドワード・シニトリーはよくアシントリー
 した。二つ。
 3.57分、591分。同じ感じではなく、また
 左右非対称にして、同じ感じとは別な考えがある
 春回りとまじつた。

私と美術 B組31番氏
 中学校に入って、何となく「美術」に変わって
 採りなると学んだ。
 年のスキャンや図案のスクリーンなども学んだし、
 陰のつくりや上塗りや下塗りなども学んだ。
 美術は学ばなければ、一生困ることはなかった
 かもしれない。
 二年間採りなると学んだことが出ると
 おかしなセクシーな世界と語っていた世界に
 前より興味を持つた。
 じつと勉強すれば、じつと人はまじめに描けるんじや
 ないかなと思つた。
 私か今現在考へている将来への道が上り
 歩めたら、私は美術とは無縁の世界にいるか
 いない。
 けれど、二年間学んだことは、個人的なものでも
 将来いかせたら良いなと思う。



題「白と黒」 B 組32番 共68

色のバランスを考えました。全体的に白いイメージの手を插いたけど、所々に黒い影を入れてなるべく立体的に見えるようにしました。また、それぞれがイメージにしたがったので手の形を歪けるのではやく少し曲げた感じでそれぞれを表現しました。

全体的に白くてそれぞれがイメージがあまり面白くない、かげの部分は、とてち暗くして白と黒の両方のイメージを強くさせるように工夫しました。

私と美術 B 組32番 共68

3年間の美術の授業で、物を色や面から知り入れて、それをどのように表現したのが、何と自分なりに伝えようとしているのが、自分なりに感じとる力が身に付いたと感じていました。物を作るときどうやたら相手をこの伝わるかや考えながら作業で来たと思えます。



8 マイバズ - こころのこころ B 34 # 10
 15歳の今の手を そのまま、写実的に描きたいと思
 ったので色は使わず えんぴつだけ使いました。
 手のむくみ、あたまのむくみ、両手を重ねて
 いるという物にはまじり。また、質感をだすために濃淡に気
 をつけました。えんぴつでぬいあとにけいおととポツと
 たたくように消すと立体感ができました。手にある線と
 ほぼ正確に描こうとしました。遠くから見ると絵が
 良く見えるように描いたので、輪郭を濃く描き、あ
 たり見えないようにしました。1年生の時に得た「ダンゴ描法」
 をつかい、さらにみえるようにしました。



私と美術 B 34 # 10
 「色の濃淡」の授業をうけたのは立体的に、さらに質感
 がわかるような絵が描けるようになったと思います。陰の部
 分をよみかき消すのがたのしかったです。
 3年間の一番興味深かったのは、熱いうらわの制作で、
 光が透かせるような特殊な新しい作品づくりは、
 文字と地の色の組み合わせや配置など、工夫が
 多く、自分の個性が作品に反映されたと思っ
 た。今製作中のゆめまごは、和紙のラジコ
 のあたりを、とちかみじつので、部屋に
 作品を飾りつけたい。3年間の美術の時間
 とは、描くだけでなく、素材の特徴を生か
 す作品づくりや構成、音楽と色の
 関係の関連、など、多くのことを学
 びました。写実的に描くことは得意
 ではありませんが、描くこと、創ること
 を楽しむことができています。

題名 heart♡ B組 35歳 女性

私はこの15年間たくさんの人に出会いました。
そしてたくさん人の愛をもらい、自分をたくさんの人に愛を
与えられました。これらはすべて愛の受け渡しを表現しています。
これからもいろいろな人とのコミュニケーションを大切にして、
愛のあふれたあたたかい生活を送りたいと思います。

私と美術 B組 35歳 女性

私は小学校の頃からずっと美術が好き好きではありませんでした。
自分には美術の才能もセンスもないから上手な作品がつかないと思っ
てました。でも、中学校3年間の美術の授業を通じて、美術が大好きになりました。
それは、美的に上手な作品を作るのが目的ではないと気がついたからです。美術
の作品づくりの目的は、自分の中へ自分に向き合い、それを目に見える形に表現
すること、そして思いを芸術的に作品づくりがとてま楽しく感じられました。
これ前々に換わりながら、これでは、自分の好きな曲とこれとは異なることで、
自分でも意識しなかった自分の心の奥にある興味、関心、感情を表現
することができました。そしてそれをどう見せるかにするが、それは私の自由
でした。自分がその色、形、かき感のイメージと当とはあり、取りかきものを決め
ました。私が選んだことは、君と巡り会えた、それがすべてです。それを
明確に表現するのには、アートで表現しました。自分のイメージが、その
の作品が完成したときはうれしかったです。
3年間の美術の時間は単に作品を製作するだけではなく、自分に向き合う
貴重な時間でした。



題名 夢に向けて B組3番 氏名

夢を描き、成功をイメージしながら努力することを意識させてきました。自分の夢はまだ見えないけれど、その先には光があると信じています。
制作して良かったことは、明暗をばりきりさせることです。立体感を表現するためには光と影の対比、暗いところと明るいところの違いをつけるようにしました。
また、輪郭を濃くかきおこしました。濃くすることで、自分の思いや表現の強さを表しました。

私と美術 B組3番 氏名

3年間の美術の授業を通して、自分の思いや感情を作品に込めようとするようになったと思います。
その理由は、いろいろな学習があったからです。彫刻や色と形に関することや、音楽を聴いて考えたこと。その学習を基にして自分の作品として表現することができたと思います。
私にとって美術とは、とて身近なものに感じます。作品をつくる楽しさだけでなく、普段の生活の中でセーターや色、道具などに自然に関心している、それが好きなのだと思います。
これからも、これからもいろいろな「美術」をもっと追究して、自分の個性をもっと表現できるようにがんばります。



題名 未来を切り開け、B 藤原 氏名

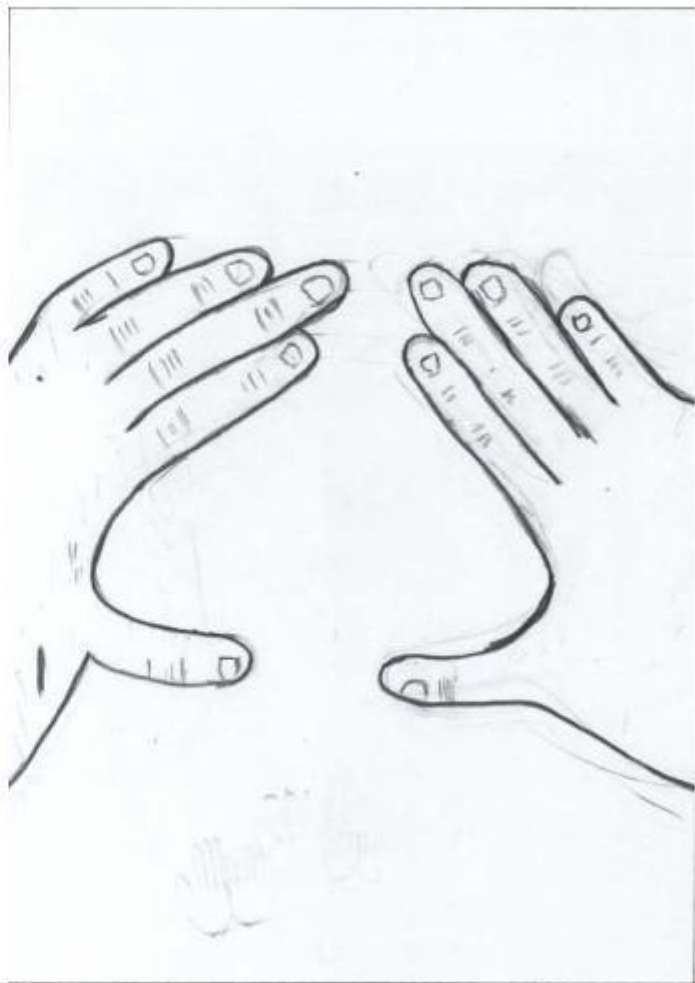
私には将来の夢があります。それは、大好きな中国語をいかに仕事にしたいと思っています。今は、台湾で添乗員の仕事にしたいと思っています。私は人のお世をするのが大好きだし、旅をしたりするのがとても好きです。なので、この手は、夢を想像しているような手だし、何かを掴みとろうとしている手です。

私と美術 B 藤原 氏名

1年生のころは美術とはどういうもので、どんなことなのかと思っていました。1年生で作った作品で一番心に残っているのは、自分の好きな文字を木に書いて、それを切っていくのがとても楽しかったです。

2年生では、スチールを通して、遠近と近づき方や左右対象などを学びました。心に残っている作品は、自分の名前を紙で作ったふしどしたり、あとは、未来の自分の部屋というのをしたことが楽しかったです。

3年生では、グラデーション、リズム、バランス、シンメトリー、黄金比などを学びました。心に残っている作品は、オリジナルのものを作ったり、合作している夢だまじなどが楽しかったです。なので、高校に行っても、3年間してきたことを忘れないで、また、美術の授業で使っていきたいです。



題名

夢

B組39番 氏名

15歳。この時期は、いろいろな色を使っています。それを後の
画で表現しています。でも夢が明るいものが、その中にはあつて
きたりしています。

夢が何よりも感じている感じにしたくて、手だん中心に近づくと
明るくなるよう、まず、中心をぬって、その上から濃い色を
重ねていきました。

私と美術

B組39番 氏名

印象深い学習といえば、巻印です。今製作中ということも
ありませんが、3年間学んだ美術の技法を
使うようにされているのだと感じるからです。

例えば和紙の使い方、特徴、筆の使い方、など、印も
完成させる上でとても使うことになっています。

その他にはうちわ作りも印象深いです。たしか一度、
名前を作ったと思うのですが、カッターの使用など、似て
いることもありました。

絵を描くことが好きなので、高校に行ってもこのままで
頑張る。美術が好きです。



題「まじろ」
 名 明日のために。 B 40冊 55頁

この作品は、大まかに分けて光と影について描きました。その表現したい内容に2つあります。一つは光と影は相対的なものだという事です。光がなければ影は出来ません。影がなければ光や物が存在しません。その表現を出すために、筆に濃淡をつけたり、あとと線を書かずに、間をあけて下りて工夫をしました。そしてもう一つは、影の部分は夕日、というイメージ。光の部分は「明日」というイメージを描いたことで、私は、できるだけ必要のないものは省き落としていた。しかしながら、自分の光と影を夕日と明日と影に表現して行きたいという思いから、夕日と影は、自分と自分について、夕日も明日の光のために、自分の必要とないものは省くことなく、描いて進んでいくという思いをこの作品に込めて描きました。

私と美術 B 40冊 55頁

私は昔から絵を描くことが好きです。3年間の美術の学びを通じて改めて感じたように、自分の思いや自分自身を表現するにあたり、自分を表現できたのがとても良い経験になりました。また、印象深かった学習の思い出は、やはり何かをつくった時が一番楽しく、一番興味深いと思います。その中でも新しいアイデアがどんどん湧いてきて、そのアイデアも取り入れながら作品をつくりあげていくのがとても楽しかったです。そして自分自身を表現し、自分自身をつくりあげていくことができたので、本当に美術という教科は素晴らしい良い経験が出来たなと思います。

